

放射性廃棄物 どうするの

無職

(福島県 64)

愛媛県の中村時広知事が、県内の伊方町にある四国電力伊方原発の再稼働に同意した。鹿児島県の九州電力川内原発に次いで、再稼働することになりそうだ。

私は東京電力福島第一原発に隣接する福島県富岡町に住んでいた。事故後に県中部の町へ避難し、故郷に帰れないままだ。

富岡町では、生活ゴミや解体家屋を燃やした灰など、放射性廃棄物の最終処分場を造る計画が持ち上がっている。住民には反対意見も多く、結論が出ていない。

一方で、中間貯蔵施設の放射性

廃棄物は30年以内に福島県外に移す方針という。だが、めどは立っていない。原発の除染に伴う放射性廃棄物の中間貯蔵施設や、原発の廃炉作業に伴う廃棄物をどうするの。今後も大きな課題として住民に突きつけられてゆく。

原発の再稼働を受け入れた知事らは、放射性廃棄物も全て地元で受け入れる覚悟があるのか。加えて言えば、伊方原発で事故が起きれば対岸の大分、山口、広島など他県への影響も計り知れない。

放射性廃棄物の捨て場所も決まらないうまま、隣接地域への影響調査もせずに見切り発車で原発を再稼働するのは容認できない。